



入社2年目の石井海空さんは、「作成した図面通りに工事が進んで形が見えてきた時がうれしい」と話す



「インターデコハウス」を見て「自分もこんな建物をつくりたい」と入社したという大内香さん



2人の子どもの育てながら時短勤務中の菊地茉莉江さん。「取れる資格は取って会社に貢献したい」と話す

大規模な公共工事から個人の輸入住宅まで

道路や橋、堤防などの土木工事をメインに学校や役所といった公共建築や輸入住宅「インターデコハウス」を手がける「野地組」。創業から約70年、二本松市を拠点にしてきた地域密着型の企業だ。

「当社の社員の多くは、自宅からどこかに出かけようとしたとき、自分たちが手掛けた道路や橋を通るはず」と話すのは代表取締役の野地武之さん。「関わった仕事の多くが形に残り、地図にも残って、地域の人たちの利便性や安全性につながっていることが実感できる仕事です」と話す。

2020年に入社した石井海空さんは、「母校である二本松工業高校を施工した野地組は、在学中から親しみがあつた」と言う。2年目の今、段取りよく現場を回す先輩社員の姿を見て「いつかはあなりたい」と憧れながら経験を積んでいる。まずは3年の実務経験を経て現場管理の国家資格「2級土木施工管理技士」を取得するのが目標だ。

入社後の資格取得支援で学部や専攻は不問

入社11年になる菊地茉莉江さんは2回の育休を取得した後に「2級土木施工管理技士」を取得した。同社では資格取得の支援制度が手厚く、出身校の学部や専攻は基本的に不問にしている。菊地さんは、栄養科の短大出身。「工事に配属された時には驚きましたが、初めての工事を感じた達成感が忘れられなくて続けてきました」と菊地さん。現在の業務は書類作成がメインだがピンチヒッターで現場に入ることもあり、「来てくれて助かった！と言われるのが何よりうれしい」と笑う。

2018年に野地代表は「イクボス宣言」、社員のワーク・ライフバランスを応援してきた。これまでに育児のための時短勤務を利用した男性社員もいる。「仕事は働く人たちと家族が幸せな人生を送るためにある」と野地代表。「目指すのは、社員が仕事を通じて成長し健康で活躍できる企業。みんなで郷土発展に貢献したい」と話していた。

会社情報



- 創業 1953年(昭和28年)
- 代表取締役 野地 武之
- 資本金 3,000万円
- 従業員数 67名

〒969-1404
福島県二本松市油井字赤坂山27
TEL / 0243-23-0131 FAX / 0243-23-1296
http://www.nojigumi.net

企業の魅力

- 1 地域の文化・慣習を尊重する地元密着型企业
- 2 資格取得支援制度があり若手の育成に手厚い
- 3 社長が「イクボス宣言」。女性も活躍する職場環境

業務内容

- 工事部土木課
公共事業を中心とした社会インフラの整備、維持
- 工事部建築課
教育文化施設や医療施設及び店舗、工場等の建築、保守
- 工事部工事課
建設・維持工事における現業を担当
- 営業部
公共工事の積算・入札業務及び民間営業
- 総務部
労務・人事・法務・経理等の社内管理業務
- インターデコハウス福島
輸入住宅の建築、販売及び不動産取引

編集部スタッフと株式会社野地組

トレーニングルームを設けたり、非喫煙者・非メタボ者に合計月額5,000円の手当てを支給するなど「健康経営宣言」の取り組みもユニーク。建設業の缶コーヒーにタバコ休憩は昔の話。元氣な挨拶と笑顔の社員が印象的でした。

職場の雰囲気や
動画でチェック！



その他、採用情報・
各種申し込み・
問い合わせはこちらから

株式会社野地組

総合建設業、不動産売買、輸入住宅販売

地域の変化を実感できるものづくり



- 1 「インターデコハウス」の完成現場で、若手社員と代表の野地さん(左から3番目)
- 2 環境省「安達地方減容化処理事業に伴う搬入道路整備工事」の完成写真
- 3 外観も内装も美しい輸入住宅のファンも多い。施主が社風に惹かれ入社したケースも
- 4 間もなく70周年を迎える同社。若手の声を聞き会社があるべき姿を探る